

代表質問通告書一覧 (3月6日)

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(8 番) 太田 敦 (日本共産党)</p>	<p>1 大阪の「職員基本条例案」、「教育行政基本条例案」と思想調査について</p> <p>「職員基本条例案」や市職員への「思想調査」は、憲法に保障された思想・良心の自由や政治活動の自由を踏みにじり、職員の人格をまるごと支配するものである。</p> <p>そして、これらは公務員を「住民全体の奉仕者」から首長の奉仕者に変質させるとともに、憲法などに違反・抵触するものだと考える。また、「教育行政基本条例案」は憲法が退けている政治の教育への全面的な介入に道を開くものである。</p> <p>このことについて、知事の所見を伺いたい。</p> <p>2 消費税増税について</p> <p>国では「社会保障・税一体改革」と称して消費税の増税が検討されているが、経済の発展にそむき、家計も景気も悪化させてしまうことにつながると考える。知事の消費税増税に関する考えを伺いたい。</p> <p>3 県有施設の中中部地域再配置構想について</p> <p>今回の中部再配置構想は、再度住民の声を反映させるために白紙に戻して検討する考えはないか。とりわけ、施設の空白地域となる高田市域については高田総合庁舎の廃止を見直しされる意向はないか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
<p>(8 番) 太田 敦 (日本共産党)</p>	<p>4 台風12号の被災者に対する生業支援について</p> <p>被災後、未だ再開に至っていない工場や民宿等、また融資を受けられない事業者に対しては、再開に向けた設備資金を補助すべきだと考えるが如何か。</p> <p>5 台風12号災害の堆積土砂の除去について</p> <p>台風12号災害により河川に流れ込んだ大量の土砂の撤去について、現在の進捗状況と今後の見通しを伺いたい。</p> <p>6 子どもの医療費助成の拡充について</p> <p>(1) 全国的な流れや、また県内の複数の市や町で来年度から子どもの医療費助成の対象年齢の引き上げが検討されていることから、本県においても対象年齢を拡大すべきと考えるが、如何か。</p> <p>(2) 国に対し、現物給付を行っている自治体へのペナルティ措置の廃止を求めることと同時に、県として現物給付に切り替え、窓口負担をなくすべきだと考えるが、如何か。</p> <p>7 発達障害のある児童生徒に対する教育の充実について</p> <p>支援を必要とする児童生徒のニーズに応えるため、指導教員の増員や設置数の増加など通級指導教室の充実を図るべきだと考えるが、如何か。</p>	<p>知 事</p> <p>土 木 部 長</p> <p>健康福祉部長</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(24番) 奥山 博康 (自由民主党 改革)</p>	<p>1 観光経済の活性化について</p> <p>(1) 観光振興について 魅力的で快適な観光地づくりには「おもてなし」の気持ちが必要であるが、それらが具体的にサービスや目に見える整備といった形で着実に展開されていく必要があると考える。「おもてなし」の具体的展開を、今後どのように進めるのか伺いたい。</p> <p>(2) ホテル誘致について ① 県営プール跡地へのホテルの誘致については、進捗がなかなかみられない状況であるが、現状はどうか。 ② 奈良公園周辺の観光資源を活かすため、県庁へのホテル誘致を検討すればどうか。</p> <p>2 消防の広域化について</p> <p>消防広域化協議会から、生駒市、奈良市が相次いで離脱したが、県民の生命・財産を守り、県民の安全・安心につながる消防の広域化を進める必要があると考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>3 教育問題について</p> <p>本県教育の充実のため、県立高等学校を活性化させ、魅力あるものにするような教育の奈良モデルが必要だと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(3 番) 大国 正博 (公明党)</p>	<p>1 災害に強い県づくりについて</p> <p>(1) 今後、東海・東南海・南海3連動地震に備えるべきとの議論が高まっている中、また、今回の紀伊半島大水害のような大雨に備え、県内市町村全体で被災市町村を支援するためのシステムをあらかじめ構築しておくことが必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 東日本大震災では、重要な情報システムがサーバーごと流された、あるいは破損したという自治体も多く報告されている。このような中、災害対策に有効な手段として「クラウドコンピューティング」が注目されており、本県市町村においても「自治体クラウド」の導入を促進していくべきと考えるが、現在の取り組み状況及び今後の支援について所見を伺いたい。</p> <p>2 観光振興について</p> <p>(1) 平城遷都1300年祭の成果を継承し、県全体のさらなる観光振興を図るため、本県が有する魅力を如何にして磨き、発信しようとしているのか、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 本県のマスコットキャラクター「せんとくん」について、全体として露出、活躍の様子が見られなくなっていると思う。「せんとくん」を今後どのように活用していくのか。</p> <p>3 救急搬送時間を短縮する取り組みについて</p> <p>(1) いわゆる「救急搬送ルール」が機能していない原因をどうとらえているのか。また、どのように改善してきたのか、そして今後どのように改善していくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(3 番) 大国 正博 (公明党)</p>	<p>(2) 県では「奈良県救急医療管制システム (e-MATCH)」事業を進めていると聞くが、このシステムは、どのようなもので、救急搬送時間の短縮のためにどのように活用していこうと考えているのか。</p> <p>(3) 山間地の多い本県ではドクターヘリの運用が非常に有効である。現在、和歌山県、大阪府のドクターヘリを共同利用するという形で運航しているが、本県独自にドクターヘリを導入すべきと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>4 奈良病院移転後の平松地区での医療の確保とまちづくりについて</p> <p>平松地区での医療の確保とまちづくりについて、地域の方が望んでおられる日常の治療を残していただくことはもちろんだが、今後の高齢化社会を考えた時、病院での治療だけでなく、健康づくりまで含めた取り組みが必要と考えるが、現時点での知事の所見を伺いたい。</p> <p>5 エネルギー政策について</p> <p>本年3月末までに、奈良県としてのエネルギー利活用にかかる基本的な考え方のとりまとめをすると聞くが、どのような方向性を考えているのか。また、24年度におけるエネルギー関連の取り組みについて伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(3 番) 大国 正博 (公明党)</p>	<p>6 若者の雇用対策について</p> <p>公明党青年委員会で「若者雇用実態調査」を実施した結果、「3つのミスマッチ」が浮き彫りとなった。私は、学生と中小企業との接点の強化と訓練内容の充実を図ることがミスマッチの解消につながると考えているが、県として、学生への企業情報の提供や企業との出会いの機会の創出について、どのように取り組もうとしているのか。</p> <p>また、就職につながり、企業ニーズに合った訓練内容の充実に向けどのように取り組むのか。</p> <p>7 伝統工芸の継承について</p> <p>伝統工芸が途絶えることは、本県にとって大きな損失であり、伝統工芸の技術の継承をきっちりとしていく必要があると思う。知事は、伝統工芸の振興をどのように考え、今後どのように取り組もうとしているのか。</p> <p>8 学校施設の防災機能の強化について</p> <p>(1) 大地震等の災害発生時、学校施設は地域住民のための応急的な避難所となる役割を担っている。県としても今後あらゆる災害に備え、既存の防災機能を見直し、さらには、東日本大震災の教訓を踏まえ早急に防災機能の強化に取り組む必要があると考える。県内の避難所に指定されている、公立の小中学校、高等学校、特別支援学校の防災機能の現状はどうか。</p> <p>(2) 「(仮称) 県立学校施設の防災機能強化プラン」を策定し、期間を決めて集中的に防災機能を強化すべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(3 番) 大国 正博 (公明党)</p>	<p>9 「高校生修学支援基金事業実施要領」改正への対応について</p> <p>特定扶養控除の縮減の影響で、結果的に実質負担増となる定時制・通信制・特別支援学校に通学している家庭の子どもはどれくらいいるのか。また、低所得世帯等を対象とした対策についてどのように考えているのか。</p>	<p>教 育 長</p>